

第十六回村研大会を終つて

前号既報のよう一〇月二二日二三日の両日鎌倉市由比ヶ浜の國家公務員共済組合連合会保養所「若宮荘」において開かれた大会は

二一日の国際反戦日における東京での、過混亂が翌朝にも及んで一時間開会を延ばさざるをえなかつたが参加者九〇余名という盛会であつた。

参加申込者は開会直前まで一〇〇名ちょうど、うち宿泊せずに参加と申込んだ人が一二名、宿泊による参加申込者は前号既報の六四名よりも大巾に増えて八八名に及んでいた。実際に二二日夜に宿泊した人数は七六名になり一二名の減少を見た。二二日夜だけ宿泊して二二日だけ参加して帰られた人もあり、刻々の移動が激しいのも今大会の特徴の一つであった。各地で大学紛争が続出する最中のこととて仕方のないことではあつたが、取止めの申出なしに取止めた人、取止めの申出が間に合わなくなつてから知られた人などが続出し、宿泊費、食費共に収支あいつぐなわくなってしまった。最初の申込みと以後の変更申出と現実の行動の三つが一致しなかつた人々が多数あり、最初の申込みだけはあつたが変更申出もなく欠席された人々だけでも九名あつた。懇談会出席を申込んでいて変更申出をせずに出てなかつた人は最少限六名はあつた。昼食の変動は数えきれない。変更申出時に払込み金の一部を返金したが宿舎側からもはや間に合わないとして数を減らしてもらえなかつた場合がおびただしく、間に合う場合もないわけではないため一律に返金しないことにもできなかつた。前号において当日現地での受け付けは致しかねると予告してあつたのにかかわらず当日突然あらわれる人々もあり、それも、隨時そういう人が出現するので、他方では、申込み変更を予告することなく急に直前に取消して払いもどしを受ける人や

取消もせず身を消す人もあるという状況のなかでしたから、消える人数を予想して申込数を勝手に減しておくというような冒険も致しかねた次第です。

大会特別会計の報告に示されているように五万五八九五円という赤字は、一部は会議場料八〇〇円と、一〇時から三時までの各部屋の使用料（「休憩料」として請求された）として更に八〇〇円、合計一万六〇〇〇円の支出を事務局が下交渉した際に聞き出しえなかつた手落ちによるものであつて、この分については当番校がカバーリしてしかるべきものと考えました。それにしても、残り三万円ほどの金額を当番校で引きかぶることまでは、その能力に欠けるというだけでなく、会の前途のためにも適切な処置法ではないと考えますので、赤字の全貌を先ず示した上で、そのうち二万円までは当番校で引受け、残り三万五八九五円は、前記のような違約続出によるものとして会自身が支出するほかないと判断しました。しかし、かかる処置は誠に残念なので、違約についてお心当たりの方々が右の明細書きを参照して新事務局あてお払い込みいただければ幸いです。

二二日昼食一八〇円、懇親会夕食八二〇円、宿泊五九〇円、
二四日朝食九〇円

いずれにせよ、当番校事務局が、大学紛争もともなつてこれほど多數の違約者が出現するということを事前に予期しえず、それに対する対策を講じえなかつた責任はおおえない反省しております。それへの対策としては、大会参加者の一たん払込んで下さったお金

はその後の変更による払いもどしにはいつさい応じないという方法によつてでなければ処理しえないと決断し心を鬼にして払いもどしを拒否すること、また、申込んでおいて予告なしに取止めた人は参加しなくとも請求しなければならないということを予告しておくことが不可欠でした。これらの対策を構じておかなかつたのが赤字を生じた理由の最も根本的なものとなりました。将来の大会運営のため参考にしていただければ幸いです。共済組合等の役所的な施設を利用する場合、これは必ず起りうる問題であつて、今年のように全国的な大学問題が同時に発発する特殊状況ではなくても、大なり小なり、これまで大会を引受けたところで同種の経験をなさっているのではないかと思います。宿泊を伴う大会を最小限の経費で実施しようとする限り、会計をなりたたせるためには、参加申込み者各位との点に関する協力なしには、会が成立しえないということを痛感しました。大会終了後、少数の方々からの参加取消し通知が配達されて来ましたが、そういうことさえもない場合の方が残念ながら多かったのも事実でした。以上のことは、勿論、直前にでも、取消しにまにあう時期に遠距離電話や速達便などでお知らせがあり、申込みを若宮荘に対して有効に事務局の手で取消すことのでききた件に相当する方々の場合とは無関係です。

たいへん、書きずらいことを余りむきだしに書いてしまって申訳けないとも存じますが、誰かが何時か書いておかなければならぬことであろうと存じ、思いきつてあらいざらい御報告し、御批判を乞うことに致しました。
(事務局 中野卓記す。)